

NPOと市町村との協働アイデア提案会

趣 旨

福祉や環境、教育やまちづくりなど、様々な分野の問題に迅速かつ的確に対応するには、行政、中でも市町村とNPOとの協働が重要となっています。

県内で活動するNPOの過半数は、協働したいパートナーとして市町村を考えています。NPOと市町村との協働事業は年々増加していますが、まだチャンスやきっかけを探しているNPOも少なくありません。

そこで、NPOと市町村の事業担当者のマッチングの場として、福祉、環境保全、まちづくりなどの各分野で活動するNPOが、市町村の事業担当者に対してアイデアを発表する「協働アイデア提案会」を実施します。

NPOが協働アイデアのプレゼンテーションを行い、市町村の事業担当者等との意見交換を行っていく中で、具体的な事業化を目指します。

平成19年度実施結果

1 開催日時・場所・コーディネーター

第1回（西部）	平成19年7月27日（金） 13時～17時 川越 コーディネーター 望月泰宏氏
第2回（東部）	平成19年7月31日（火） 13時～17時 春日部 コーディネーター 鷲巣敏行氏
第3回（南部）	平成19年8月 2日（木） 13時～17時 さいたま コーディネーター 秋元智子氏
第4回（北部）	平成19年8月 3日（金） 13時～17時 熊谷 コーディネーター 松本博之氏

2 提案された協働アイデア（提案団体）・参加者

（1）全県で、**44アイデア（37団体）、298人が参加**

	提案数	参加者数
第1回	18アイデア（13団体）	85人 (NPO27, 市町村35, 一般8, 県15)
第2回	8アイデア（7団体）	78人 (NPO16, 市町村45, 一般6, 県11)
第3回	12アイデア（10団体） ※1アイデア・団体は東部と重複	72人 (NPO22, 市町村35, 一般4, 県11)
第4回	7アイデア（7団体） ※1団体は南部と重複	63人 (NPO18, 市町村29, 一般2, 県14)

（2）提案されたアイデアの例

- ・自治体・大学・企業・NPOネットが協働した東武東上線沿線上での「コミュニティビジネス」支援事業

- ・ 中心市街地の賑わい創出のための「オープンカフェ」の実施
- ・ 歴史・文化を活かした中心市街地活性化のための「市民まちづくり寺子屋の実施
- ・ コミュニティラジオ局を活用した、市民活動紹介番組の制作、放送

3 協働アイデア提案後の市町村の検討状況（平成19年9月末現在）

(1) 提案アイデア数 44アイデア（37団体）

(2) 市町村における検討状況の概要

提案会終了後に、さらに検討されたアイデア 26（市町村数；17）

〔主な内訳〕

ア 事業化されたアイデア 3

- ・ 国連・持続可能な開発のための教育の10年
 ／持続可能な開発のための教育の10年さいたま
 ／和光市 12月実施
- ・ 入れ歯リサイクル／（特）日本入れ歯リサイクル協会
 ／日高市 9月実施
- ・ 障害者就労支援「障害者向けIT実践基礎技能習得コース」熊谷校開
 催 ／（特）生涯学習コーディネート協会／熊谷市 1月実施

イ NPOとさらに協議をするアイデア 10

〔集計表〕

	事業化する 方向で検討 を進めてい る	事業化の可 能性も含め、 NPOとさ らに協議す る	事業化は難 しいが何ら かの協力を していく	協働は難 しい	その他	合計
提案会後にNP Oからさらに詳 しい話をきいた	3	4	7	1	1	15
事業課内におい て検討した	—	6	9	—	—	14
合計	<u>3</u>	<u>10</u>	14	1	1	<u>26</u>
※重複事業あり						

※このほか、提案会の前に協働を開始したアイデアが3（市町村数；3）あり。